

第490回 放送番組審議会

1. 日 時 2013年10月15日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 12名

出席委員 9名

委員 長	坂本 修
委員	池田 克典
委員	吉江 信博
委員	平 英一
委員	國分 正人
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	五日市知香
委員	丸山 謙一

欠席委員 3名

副委員 長	柴田 和子
委員	鈴木 正之
委員	村川 健一

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (常務取締役)
	青山 尚之 (取締役報道制作局長)
	菅野 智 (営業局長)
	堺 康規 (報道制作局報道部専任部長)

事務局	遠藤 隆 (編成技術局長)
	平井 直子 (編成技術局編成部副部長)

4. 議 題

1. 2013年9月7日(土) 10:30～11:25 放送
「復興の“いま”を問う ～東日本大震災から2年半～」
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見
- ・ テレビ岩手番組表(10～12月)

6. 意 見

委員側

- 2年半の節目に放送した。定点観測のインパクトがある。震災直後から1年、2年、2年半と定期的に追っている貴重な映像。復興の妨げになっている資材の不足、人員の不足、復興事業が重なっている点を丁寧に描いた点が評価できる。
- 空撮は今の様子をわかりやすく紹介していた。復興状況全体像がわかる映像だった。
- 大槌町長の碓川豊さんは復興の遅れについて国に対するもどかしさを的確に訴えていた。陸前高田市長の戸羽太さんは良く出てくるが大槌町長の声は余り聞いていなかったのが良かった。
- 再建したホテルは海ぎりぎりに建っているので柴柳キャスターに「ここではまた津波が来るのではないか？」という質問をしてほしかった。視聴者もホテルの安全性に疑問を持つのではないか。

局側

- 定点撮影や空撮は今後も続け、被災地の変化を追っていきたい。
- ホテル側は津波が来たらすぐ屋上に誘導するとか、高いところにある国道45号線への誘導も考えているので、そうした点を紹介すべきだった。番組として説明不足だった。